

事務事業評価シート

(H.28)No.	1083	(H.27)No.	1083
-----------	------	-----------	------

事務事業名	環境衛生費		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	猪田 徹	

会計区分	事業コード	252501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	環境衛生費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	環境衛生費	環境衛生費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施 策	1	環境保全
	小 施 策	3	環境美化の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に係る消毒、へい獣の処理等により清潔で安全な公衆衛生を図ります。 ・狂犬病予防法に基づき狂犬病の発生予防や犬を原因とする危害防止を図るため、県と連携して狂犬病予防思想の普及に努めます。 ・あき地の適正管理により快適な生活環境の確保を図ります。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防事業 (予防注射、犬の登録管理、飼い主のモラル向上のための啓発)など ・感染症予防にかかる消毒、へい獣の処理 ・災害廃棄物の処理 ・あき地雑草の除去対応

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 2,723千円 等 ・犬の登録 405頭 ・狂犬病予防注射 3,673頭 ・へい獣処理 99件 ・迷い犬一時保護 19頭 ・蜂の防護服貸出 40件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 3,874千円 等 ・犬の登録 390頭 ・狂犬病予防注射 3,450頭 ・へい獣処理 100件 ・迷い犬一時保護 10頭 ・蜂の防護服貸出 40件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み ・災害廃棄物処理 ・あき地雑草対策

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
犬の登録、狂犬病予防注射、へい獣処理、迷い犬一時保護、蜂の防護服貸出、外来生物駆除、災害廃棄物処理、あき地雑草対策	犬の登録、狂犬病予防注射、へい獣処理、迷い犬一時保護、蜂の防護服貸出、外来生物駆除、災害廃棄物処理、あき地雑草対策	犬の登録、狂犬病予防注射、へい獣処理、迷い犬一時保護、蜂の防護服貸出、外来生物駆除、災害廃棄物処理、あき地雑草対策

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	3,905千円	4,656千円	4,656千円	4,656千円	4,656千円	
内訳 (千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他(使用料等)	3,905	4,656	4,656	4,656	4,656
	一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数	職員	1.00人	1.11人	1.17人	1.17人	1.17人
	臨時職員等	0.20人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
②概算人件費	(0千円) 7,940千円	8,691千円	9,147千円	9,147千円	9,147千円	
①+②総事業費	(0千円) 11,845千円	13,347千円	13,803千円	13,803千円	13,803千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
狂犬病予防接種率向上への取組、及び犬の鳴き声や野良猫に関する苦情が多数あるため更なる取組が必要です。	保健所と連携して野良猫対策事業や予防接種率の向上及び迷い犬対策のための鑑札・注射票の首輪への添付啓発を行います。また、野良猫対策として、まちなこ事業を推進します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	良好な地域環境づくりへの貢献をしているが、尚一層の施策達成に向けた取組が必要です。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	動物愛護団体による里親さがしや、まちなこ事業を推進しています。あき地の適正管理については、一部地域と協働し対応しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
動物愛護団体や保健所との協働による、まちなこ事業の実施、及び動物愛護団体との協働による里親さがしを推進します。災害廃棄物の処理体制を構築する必要があります。	